

令和6年2月幹事会議事録

日時 令和6年2月18日(日) 10時00分～12時45分  
場所 東京外国語大学 国際交流会館 1F 交流ホール zoom 会議併用  
出席者 谷、阿部、甘利(司会)、井上、小平、佐久間、高橋、野口  
大谷、山田・・・オンラインにて

以上10名

1. 報告事項

(1) 学内状況

- ・ 留学生受入れに関して組織の改編が進められている模様。

(2) 事業報告

1) 大学フードパントリー (井上)

- ・ 2月1日(木) 情報入手が直前であったが協力参加した。
- ・ 参加幹事: 井上、谷、小平、山田
- ・ 食糧セットを受け取った110名の来場学生に声かけしながらりんご1個、みかん2個を手渡した。
- ・ 10時の予定を少し前倒して開始し、11時前に終了した。
- ・ 留学生の参加は従来と比してかなり少数であった。
- ・ 準備期間が短く、支援の会提供であることをアピールするものを用意できなかった。

2) 連絡室 (小平、甘利)

- ・ 連絡室は2月22日(木)まで開室し、2月23日～3月24日(日)は休み。
- ・ 書道は1月初旬から2月16日(金)まで行われて現在は休み、4月12日(金)より再開予定。
- ・ 2月の生け花は雪の為に中止となったが、4月は入学式以降2回開催予定。
- ・ 茶道は4月から水曜日1回開催予定。
- ・ 日本語広場は、参加者の進学や帰国等の事情があり、4月から新たに開講予定。

(3) 組織 (阿部)

1) 新規の入会、会費、寄付

- ・ 推薦入学予定者の保護者の新規入会が1件あった。

2. 審議事項

(1) 当面の実施事業の準備状況確認

1) 2月22日深大寺ウォーキング (谷、山田)

- ・ 申込 21名 (昨年35)
- ・ ボランティアガイド2名依頼。
- ・ 昼食そば店22名予約 (昼食代として1000円を補助)

2) 3月1～3日ふじのくに留学生ツアー (谷)

- ・ 参加予定 18名 (希望者が多く、現地と相談して3名増員)
- ・ 20日に最終説明会
- ・ バス借り上げ料増加に伴い補助金増額の提案があり、5万→7万で承認された。
- ・ 3月1日は、多磨駅(担当谷)、東京駅(担当北村)の2か所で集合し、全員一団で三島駅に行く。担当者2名は夕刻まで同行する。

3) 3月8日古都鎌倉見学進捗状況 (野口)

- ・ 申込 22名 (昨年 37名)
- ・ 引率担当：野口、谷、阿部、甘利、久野、小平
- ・ 現時点で6名の入金を確認
- ・ もう少し呼びかけをして、参加者を確保する。
- ・ 雨天の場合のプランも考える。

4) 3月23日第53回府中市民桜まつり民踊流し (谷)

- ・ 3月15日2時 練習会
- ・ 府中市の担当者からホールで指導を受ける予定。

(2) 新年度当初の活動

1) 新留学生オリエンテーション

- ・ 4月の3日、4日頃実施される見込み。
- ・ 対面かオンラインかは未定。

2) 入学式保護者への呼びかけ

- ・ 入学式日程：4月6日(土)
- ・ 詳細は未定であるが、待機保護者に支援の会の紹介を5分程度できる可能性がある。
- ・ 待機会場の外にブースを設け、入会受付、パンフレットの配布を行う。
- ・ 当日はバザー2日目でもあるので、主担当2名を他の幹事等が適宜応援し、さらに留学生6名程をアルバイトで確保して対応する。
- ・ 入学式参加保護者にバザーを見学してもらうよう呼び掛ける。

3) 春期バザー

- ・ 4月5日(金)、6日(土)実施予定
- ・ 荷物の受取は3月25日～29日(会報、ホームページで告知済み)
- ・ 3月31日(日)幹事会の後、準備作業予定

4) 新留学生歓迎アンケート

- ・ 入学留学生全員を対象に実施。

5) ISEP 学生への特別な取り組み

- ・ 今年度後期の事業参加学生の少なさを踏まえて、支援の会の認知を高める工夫が必要。
- ・ 留学生課から留学生に配布される袋の中に、welcomeカード、飴のセットを入れてもらう。
- ・ 寮の告知ボードにポスターを貼る。

(3) OA化関連事案

1) 会報電子版配布に関する基本姿勢

- ・ 会報75号を、39名の会員に対して電子版で配布した。
- ・ 配布者からは、ペーパーレスの利便性、環境保護、削減経費の支援活動への利用という理由で電子版を評価する意見が寄せられている。
- ・ 今後は電子版配布への変更をさらに積極的に進める。
- ・ スマホで見える場合には、現状の2段組みの構成では見づらいという意見もあった。電子版としての完成度を高めていくことも今後の課題となる。

2) 入会手続きオンライン化

- ・ 入会申込フォームを基本とし、不慣れな方はプリントして記入・送付していただくよう要請する。

(4) 次年度事業の計画

- 1) 年間活動予定
  - ・大学の事業カレンダーを元に年間の主要事業の実施時期を確認し検討→次回
- 2) 第3回総会
  - ・会報、メール、HPで告知済み
  - ・開催までの流れを確認→次回
- 3) 25周年記念事業
  - ・25周年にふさわしい来賓について→次回
- (5) 事業への参加者の拡大と多様化
  - 1) 学生募集の方法に関する基本的考え方
    - ・より多くの留学生に機会を提供する為、申込が多数の場合には同種のイベントに参加経験のない学生を優先することもある事を募集時の注意書きに明記する。
  - 2) 会員枠について
    - ・より多くの会員の行事参加を促すため、イベント的な事業には定員外の会員枠を設け、参加を呼びかける。参加費として実費を負担してもらう。
- (6) その他
  - 1) 国際交流会館の週末交流会への助成について (甘利)
    - ・2024年度は8万円(前年度同額)を助成する。
  - 2) 学会発表参加旅費助成の予算 (甘利)
    - ・2024年度予算は50万円を想定しているが、現時点での募集ポスターは30万円(前年度同額)を上限と明記し、予算が確定してから内容を差し替える。
  - 3) 短期貸付金の返金状況について (甘利)
    - ・未だ返金は開始されていないが、返金の意思、計画については確認しており、見守りを継続する。

次回の幹事会は、3月31日(日)午後バザー準備

佐久間 記